

文化も作物も実りあるものを！！



第11回みの～れ芸術展実行委員長

たかさき よしゆき
高崎芳行さん

「本当にみの～れはいつでも人がいますね。」
と笑顔で話す高崎さん。

みの～れと共に生活するスタイル

Minole Life
のすすめ

No.85

まもなく梅雨が明け、暑い夏がやってきます。涼しげなねむの花や朝顔、背高のつぼのひまわり、採りたての夏野菜、せみの鳴き声・夏の匂いがすると、間もなく梅雨が明けるな！なんて少しだけわくわくするのです。今回は第11回みの～れ芸術展の企画実行委員長で上玉里地区にお住いの高崎芳行さん取材します。

地域のつながりから 関わって早10年！！

高崎さんは今年で11回を数えるみの～れ芸術展に第2回から関わっています。「第2回の芸術展に出席した彫刻家の小松崎卓さんが高校の同級生だったんです。そのつながりで芸術展の実行委員に入ったんです。今回出展する落白青光さんも近所に住んでいるんですよ」と地域とのつながりを楽しそうに話してくれました。

趣味は写真を撮ること。同じみの～れ芸術展実行委員の大山進さんと山口ヒロナリさんに手ほどきを受けています。「玉里書友会に入っています。昨年も私も大きなレンズをプレゼントしてくれたので野鳥を撮りに行っています。昨年は白鳥が飛び立つところをタイミングよく撮ることが出来たこと、ダイヤモンド筑波を写すことにも成功しました。年2回文化協会祭・文化祭などに

出展しているんですよ」と嬉しそうに話してくれました。しかしながら、なかなか写真を撮りに行っている暇がないのが悩みの種だそうです。

「若いときは人と話すのがあまり好きじゃなかったのですが、14～15年前に転職があったんです。250人の前で話す・ということなんです。とある式典を開くことになり、その時、主催者代表のあいさつをしてみたら出来てしまっただけで、あゝ自分でもやれば出来るんだって自信がついたんですよ」と高崎さん。

美味しいお米と柿作りに忙しい生活の中で合間をぬってみの～れに足を運んでくれている高崎さんは、「みの～れはすごいなと思いました。いつ来ても人がいるんですよ。それだけ利用しているんだな。こんな田舎に文化ホールを建てたってしょうがないだろうって言うてた人も、みの～れはすごいなって言うようになったんです。人がどんどん利用する建物はいくらあってもいいんですよ。」

芸術展も11回目を迎えるんですけど、毎年楽しみにしてくれる人がたくさんいて・小美玉ゆかりのある人が出展してくれているからですね。10年もやっていて毎回毎回こんなに素晴らしい作家さんがいるんだから凄いです。ずっと芸術展に関わってほしいです。実行委員も毎年少いずつ変わっていくのでまた新しい出会いがあるでしょう。また今年度は新しい試みとして『作家と行く美術鑑賞ツアー』という企画も実施します。作家と一緒に美術館に行き、お話を聞くことでより深く芸術に触れることができると思います」と高崎さんは話してくれました。

今年のみの～れ芸術展は、『日本画家落白青光』彫刻家・宮路久子』両作家の出展で、8月16日（土）～24日（日）の会期で開催されます。17日（土）には彫刻家・宮路久子先生による粘土で勾玉作りの体験教室もあります。素晴らしい作品を見て心豊かに暮らしてみませんか？

（藤田佐知子）